



～木材を搬出する作業道を核とした～ 森林整備推進協定の締結

〈高知中部森林管理署〉



二村署長と小松物部森林組合長協定調印

五月二十七日、高知中部森林管理署と物部森林組合は、「香美市物部町小川地域の森林整備推進に関する協定」を締結しました。国有林と民有林が連携して作業道開設や間伐等を計画的に取り組みることにより、資源の循環利用と、健全で豊かな森林づくりを促進することを目的としています。

この協定は、香美市物部町小川地域に所在する国有林三七七haと、民有林の小規模な森林を集約化した「森の工場」五五〇haの合計九二七haを対象として、今年度から四年間で約四kmの作業道を開設し、一三三haの間伐等の森林整備を実施する計画です。

今年一月に森林組合長から署長に「国有林道の終点から民有林に到達する作業道を設けたいが、どうしたらよいか」との相談があり、話し合いを続けた結果が協定に結びつきました。

また、協定の実施に当たっては、協定区域に国有林分収造林や公団造林、市有林等を含むため、これら関係者の理解と協力が不可欠です。

今後とも、管内の森林・林業の再生・発展に資するように、民有林関係者と一層連携して取り組んで参ります。





第1回技術開発委員会

委員からは、『試験課題「天然林におけるスギ天然更新技術の確立」については、プロット内の調査結果について、稚樹が発生と消長を繰り返している原因に

た。審査を行いました。課題に選定)を加えた。審査を行いました。課題に選定)を加えた。審査を行いました。課題に選定)を加えた。



ヤナセスギ

「中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会」及び「魚梁瀬の案内人クラブ」の協力により開

催しました。当日は公募により、四三名の参加がありました。参加者は、バスの中で「中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会」作成のビデオで森林鉄道の歴史について知識を深めつつ現地へ向かいました。最初の訪問地は、安田川沿いに残る明神口橋とオオムカエ隧道です。森林鉄道ガイドの説明を聞きながら、先達の施工技術に感心していました。また、馬路村入り口に

六月五日、国際森林年記念事業として、高知県安田町と馬路村の昭和三八

年に廃線となった魚梁瀬森林鉄道遺産と魚梁瀬の千本山を訪ねるツアーを

国際森林年記念イベント開催
「^{いにしえ}古の森林鉄道を訪ねて」
〈指導普及課〉

六月一〇日、四国森林管理局において、第一回の技術開発委員会を開催しました。技術開発委員会は、森林生態学、林木育種、遺

伝資源、民有林管理経営の専門家等の委員で構成されており、平成二二年度に実施した五課題の調査結果及び二二年度新規課題の「かかり木処理器具の改良及び伐採方法の検討」(平成二二年度林野庁重点課題に選定)を加えた。審査を行いました。課題に選定)を加えた。

法の見直しについて、発生した稚樹の成長量と併せて周囲の広葉樹の調査を検討すること。試験課題「ニホンジカについて、複数頭捕獲について、安価な試験器具の改良及び伐採方法に期待している。試験課題「かかり木処理器具の改良及び伐採方法に期待している。試験設計調査に活かしていきます。」

平成二二年度
第一回技術開発委員会を開催
〈森林技術センター〉

今回の「頂いたこれらの意見等については、今後の試験設計調査に活かしていきます。」

「中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会」作成のビデオで森林鉄道の歴史について知識を深めつつ現地へ向かいました。

ボル千本山を訪れ、森の案内人の説明を聞きながら森を散策しました。参加者には美林が広がる展望台までみて貰いたかったのですが、連日の雨により、整備してある木道が滑り危険であるため、今回は残念ながら、森の巨人百選の「橋の大杉」付近で見学しました。

参加者からは、「歴史を大切に保存し、伝えていくことは意義のあることだと思った。」「ヤナセスギが大切に守られていることを知り嬉しかったです。癒されました。」などの声も聞かれ、有意義な一日でした。

ふれあい親子体験ツアー
『森と水とエネルギー』開催



〈指導普及課〉

六月一日、「ふれあい親子体験ツアー」を、公募により募集した、親子一五組、三〇名が参加して、高知県の町脇の山ラザ本川で実施しました。

このツアーは、平成一五年から四国森林管理局と四国電力高知支店の共催で実施しており、今回で九回目となります。

当初の予定は、アメゴの放流、発電システムの勉強、発電所の見学、森林教室、木工教室、木のオモチャゲーム、国有林試験地の見学でしたが、残念ながら、こども達が楽しみにしていたアメゴ

の放流は前日からの大雨のため、川が増水し危険との判断から中止となりました。

開会は、四国電力本川の発電所の四国電力エネルギー



パズルを楽しむ

味深げに説明に聞き入っていました。次は、同会場内で、森林教室で森林と水との関係について勉強し、続いて木工教室で、木の枝の木片や竹などを材料とした貯金箱などを完成させ、木で作ったオモチャの

ゲームで楽しみました。この後、四国電力の石井課長から、「木に触れ、森を育て水を大切にし、また、エネルギーを大切にしよう」参加者をお願いして閉会しました。

最後に、バスでの帰路、国有林が実施している技術開発試験林を見学し全行程は終了しました。

今年、雨天のため一部予定変更となりましたが、参加者にとって森と水とエネルギーの関係を新たに考える機会になったと思います。



かれ木工クラフト作りに挑戦しました。

最初は「何を作ろうかな？」と悩んでいましたが、見本どおりにクマの置物や動物のストラップなどを作ろうとする児童、全く独自の発想で作りはめる児童と様々でした。それでも約一時間半程度と短いながらも自作の宝ものが次々に完成すると、皆、とても満足そうな表情でした。

児童からは、「かわいいクマやキーホルダーが出来てうれしかった」「枝をノコギリで切るのが難しかったけど、だんだんに慣れてきて、上手く切ることができるようになった」などの感想がありました。

森林や木材への関心・興味に繋がる一歩となりました。

校庭で樹木学習

(ナンテンの実は)

咳止めの効果)

〈ふれあいセンター〉

五月二五日、松野町立松野西小学校の四年生二一名を対象に、森林教室を開きました。これは、松野西小学校四年生の総



この木がナンテンだよ

合学習のテーマ「森の学習」に基づき年間七回予定している中の第一回目です。

最初に所長からふれあいセンターが行っている事業や、今年国際森林年であることについて説明しました。次に樹木の話に移り、針葉樹と広葉樹の違い、単葉と複葉の違い等について説明しま

した。その後、学習する木の名前を書いた紙を探検バスケットに挟み校庭へ移動しました。

また児童の中には、木の実が鳥に食べられ糞として地面に落ち、それが発芽し成長することにより自分たちの仲間を増やしていることをキチンと説明できる子もおり、我々職員や先生を驚かせていました。

校庭の木には予め番号札が取り付けられており、もらった紙と照らし合わせることに、

教室へ戻ってからは、「校庭には色々な種類の木があることに驚いた」「葉っぱにも色々な形があることが解り、葉っぱコ

レクターになりました」等の感想がありました。

今回の学習を通して、樹木について、少しでも興味を持ってもらえる機会になればと考えています。またこの授業は、宇和島ケーブルテレビの取材を受け、夕方の番組で放送されました。

「第三七回剣山

クリーンハイク」

〈徳島森林管理署〉

六月五日(日)、剣山において「第三七回剣山クリーンハイク」が行われました。

これは、徳島県勤労者山岳連盟主催で剣山自然休養林等保護管理協議会の協賛による企業やボランティア等で剣山の登山



コンクリート管ゴミ入れの撤去

ゴミの持ち帰りは、登山者の最低限のマナーであることから、登山リフト西島駅周辺の国設キャンプ場に設置されていた、古くなったコンクリート管をハンマー・ワイヤーカッター等を使って細かく破碎し、設置

道等のクリーン作戦を実施しているものです。当日は、あいにくの雨の中の作業となりましたが、八二名が参加し、配布されたゴミ袋を持って、見の越駐車場から各々が登山道の清掃活動を行い、合計一九八kgのゴミが回収されました。

これからも、地域や関係機関及びNPO等と協力を図りながら、清掃活動等を通して剣山自然休養林の保護管理に取り組みんでいきたいと考えています。



ゴミ回収中

き出した溶岩台地で、源平合戦の古戦場として名高い観光地であり、史跡・天然記念物や瀬戸内海国立公園に指定されているとにも、レクリエーションの森の風景林にも指定している貴重な国

5・30(ゴミゼロ)に
関係機関等と
連携し不法投棄
パトロール

〈香川森林管理事務所〉

五月三〇日、全国ごみ不法投棄監視ウイーク(三〇日～六月五日)に合わせ、高松市主催によ

り、当所や関係行政機関、衛生組合協議会、警察等五〇名で編成された「不法投棄者調査パトロール隊」によるパトロールが行われました。

当所は、屋島国有林がある屋島地区を巡回し、不法投棄の監視やゴミの回収を行いました。屋島は、瀬戸内海に突

有財産です。

当日は、県道沿線において、じゅうたんや解体されたベット、生活ゴミなどを回収し、警察による投棄者の特定につながる調査を行いました。

屋島国有林の不法投棄については、高松市や警察等と連携した撤去活動、摘発により年々減少して来ていますが、引き続き、日常の巡視や看板設置等による未然防止の取組により、不法投棄をなくすよう保全管理を行ってまいります。

